

2014年2月17日

桜井市教育委員会
教育長 石田 泰敏 様

新日本婦人の会桜井支部

「日の丸・君が代」を強制しないことを求めます

新日本婦人の会は、女性の要求実現と子どもの幸せのために全国で運動している国連NGOの女性団体です。

私たち親にとって、子どもの成長はかけがえのない喜びです。とくに卒業・入学式はその節目となる大切な行事であり、子どもたちの巣立ちにふさわしく子どもが主人公の式になるよう願っています。

ところが、こうした親や学校関係者の願いに反して、毎年「日の丸・君が代」をめぐる強制と混乱がもちこまれていることは非常に残念です。とくに「日の丸・君が代」を国旗・国歌とする法律が1999年に成立して以来、国会での約束に反する締めつけが強まっています。

さらに教育基本法が改定されたもとの、2009年度から先行実施されている改訂学習指導要領では、「君が代を歌えるように指導」など「異例の修正」がおこなわれ、「愛国心」を押しつける道徳教育が各教科にわたって強調されています。これによって、「日の丸・君が代」の強制がさらに強まることを懸念しています。

新日本婦人の会は、「『日の丸・君が代』についてはさまざまな意見があるので、学校行事には強制しないでください」と、自分の子どもが通う学校や教育委員会に申し入れをしてきました。「天皇の国が永遠に繁栄しますように」という意味の「君が代」は国民主権を定めた憲法に違反し、「日の丸」はアジアの人たちにとって、いまなお侵略のいまわしい過去の記憶と結びついていることを忘れてはならない事実です。

校長先生をはじめ、学校の先生方のご苦勞も多いかと存じますが、改めて、卒業・入学式での「日の丸・君が代」について、慎重なご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1、卒業式・入学式は、子どもを主人公にした行事にしてください。

1、子どもと教職員の内心の自由を守り、「日の丸・君が代」の強制をしないでください。